

科目	臨床実習Ⅲ-2	担当	山田 和政	履修学年	4年
時間数	90分×時限×180回(週1回)	履修区分	必修	単位数	8単位
<p>【授業目標・到達目標】 理学療法専門科目の知識、技術を臨床場面に応用し、問題解決の基本を学ぶ。そのため各種疾患の障害像を理解し、障害者の理学療法およびリハビリテーションの役割を知るとともに、より一層の知識・技術を体得する。また、患者との人間関係から患者の心理を理解する。加えて、リハビリテーションチームの一員としての役割を理解し、協調性のある態度も身に付ける。受講者は、臨床実習Ⅱを踏まえて、さらに臨床現場で対象者に接しながら実際に学内で学んだ知識と技術を応用し、専門職としての態度を修得することができる。</p> <p>【履修注意】 臨床実習施設で担当する患者を問診・評価・治療する段階で、その疾患から起因するケースの障害像(障害歴、一次障害、二次障害等)を想起し、その障害に対応した評価および治療が実施できるよう、加えて、患者に余分な負担をかけないように十分に予習しておくこと。</p> <p>【評価方法】 実習指導者評価(7割)・実習レポート(1割)・実習後の症例発表(2割)より評価する。</p> <p>【試験について】 なし。</p> <p>【予習・復習】 特に指定しない。</p> <p>【教科書】 特に指定しない。</p> <p>【参考書】</p> <p>【その他の注意事項】</p> <p>【授業計画・内容】 実習目標 ①患者の問題解決を図る基本を学び、理学療法評価、治療計画の立案と治療行為を統合して学ぶ。 ②学生としての必要な記録と報告ができる。 ③症例報告の課題をまとめ、提出物を期日までに提出できる。 ④医療専門職として責任ある態度と行動が取れる。</p> <p>実習場所 東海記念病院(愛知県春日井市)ほか約80施設</p> <p>実習方法 ①「臨床実習Ⅲ-1」「臨床実習Ⅲ-2」の実習期間を前半8週間(4月初旬～6月初旬)と後半8週間(6月中旬～8月中旬)の2回に分けて実施する。なお、各臨床実習後には学内実習として、報告、情報交換、討議等を行う。 ②1施設に1～3名の学生を依頼する(前・後半とも)。 ③学生が「臨床実習Ⅲ-1」「臨床実習Ⅲ-2」で到達する教育目標を設定する。 ④教員と臨床実習指導者が「臨床実習Ⅲ-1」「臨床実習Ⅲ-2」での指導の要点を打ち合わせる機会を臨床実習前に持つ。 ⑤学生に「臨床実習Ⅲ-1」「臨床実習Ⅲ-2」で作成する症例報告書の指針と、「臨床実習Ⅲ-1」「臨床実習Ⅲ-2」での学生の心得を臨床実習前に指導する。</p>					